



外国出張報告書

平成 26 年 5 月 23 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 26 年 4～5 月
3. 出張目的 東北タイにおける低適性土壌改良試験に係る現地測定：C

4. 成果の概要

コンケンにおいて開始したチークの成長に不向きな保水性の低い砂質土壌の改良処理法について評価を進めた。今回の出張では乾季で最も気温が高い時期のチークの成長と光合成速度、水利用特性に関する測定を行った。その結果、2月の測定結果と比較して光合成速度は低下し、水ポテンシャルの値も低下した。処理区間で比較すると、ベントナイトの処理区は土壌含水率が高く、水ストレスや光合成速度が低下しにくいにもかかわらず、苗木の成長はあまり促進されていなかった。一方、パーライトの処理区は特に水ストレス区において土壌含水率が低いにもかかわらず、成長が促進され、葉のバイオマスが多いことが分かった。また、トウモロコシの芯の処理区は2月と比較して保水性が改善され、成長も促進されていた。